

特別支援教育理解・啓発資料< I >

# 一人一人の理解と 支援のために



平成19年5月

沖縄県教育委員会

# 特別な支援を必要とする 児童・生徒はどのクラスにもいる？

忘れ物が多く、  
注意も持続しにくい

集中することが苦手

些細なことでカッとなりやすい

ケアレスミスが多く、作業が雑

不器用で運動も苦手、  
動作もぎこちない

真面目に学習しているのに、  
成績が伸びない

興味のあることばかり話して、  
会話がかみ合わない

冗談が通じにくく、  
よくトラブルを起こす

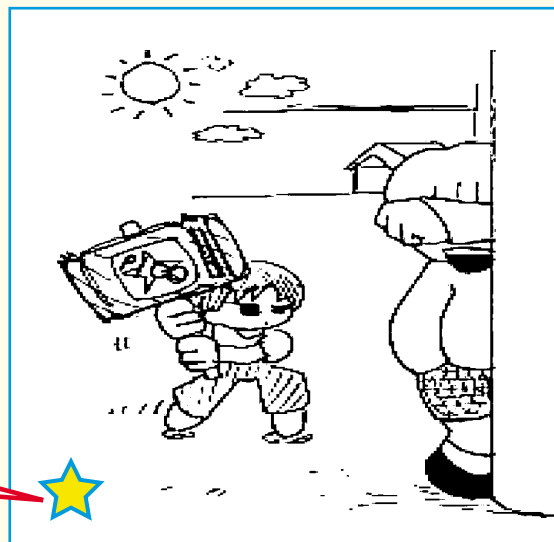
孤立していたり、  
いじめられたりしやすい

通常の学級には、上記に示すような学習に困難のある子ども、行動の自己コントロールが難しい子ども、対人関係や社会的関係に問題をもちやすい子ども等、自らの力だけでは解決が難しい様々な悩みや課題を持った子どもたちがいます。

その中には、学習障害(LD)、注意欠陥/多動性障害(ADHD)、高機能自閉症等の子どもたちが含まれています。これらの子どもたちは、特別な支援を必要とする児童・生徒です。



星印のついている  
イラストは、  
沖縄LD児・者親の会  
「はばたき」の子どもさんが  
作成したものです。



# 学習障害 (LD)、注意欠陥/多動性障害 (ADHD)、高機能自閉症とは次のような状態をいいます。

## 学習障害 (LD) って?



- ◇読むこと ◇書くこと ◇計算すること
- ◇聞くこと ◇話すこと ◇推論すること etc



上記の特定の能力の習得に著しい困難を示す

学習面でのつまずきや、集団適応、対人関係、運動面等での困難等が見られることがあります。



## 注意欠陥/多動性障害 (ADHD) って?

### 不注意

- 注意を持続することが苦手

### 衝動性

- 衝動を抑えることが困難

### 多動性

- 活動が過剰で落ち着きがない



※多動・衝動性タイプ ※不注意タイプ  
※混合型のタイプがあります。



## 高機能自閉症って?

- 他人との社会的関係の困難さ
- ことばの発達の遅れ
- 特定のものへのこだわり



以上を特徴とする自閉症のうち、知的発達の遅れがないものをいいます。

## アスペルガー症候群って?

- ◇アスペルガー症候群も自閉症の範囲で知的な発達に遅れがないタイプにあたります。
- ◇ことばの発達の遅れは伴いませんが、ことばの意味の理解やコミュニケーションが苦手で、社会性に困難が見られます



# 発達障害と呼ばれる子どもたちが 困っていることのいろいろ

## 発達障害と呼ばれる子どもたちが 学習面、生活面、行動面で困っていること

繰り返し同じ行を読んだり  
似たような字を間違えてしまう

…君  
行をとばして  
いるよ



多動、衝動的な  
行動がある



学習面、生活面で  
無気力さが目立つ



個別に話すと分かるが  
一斉の指示で分からない



注意しても  
鏡文字を書いてしまう



### その他に…

- 人付き合いのルールが理解できにくい。
- 少しの変化に混乱してしまう。
- 聴覚、視覚、味覚、触覚等が過敏。
- ことばを字面どおりにとってしまう。

etc.

# 子どもたちがどこで困っているかの「気づき」から支援のスタートを進めていくことが必要です。

## 気づきから支援のスタートを

筆算の桁がずれたり、空間図形が理解できない。



文字の見え方はどうか？  
地と図の混乱はないか？



繰り返し同じ行を読んだり、似たような字を間違えてしまう。

目や耳に入ったことに  
すぐに反応しているのかも？



多動、衝動的な行動がある。

子どもたちが示す様々な実態を単にわがまま、保護者の躰の問題と片づけてしまわず、<sup>しつけ</sup>何故だろう？という気づきからスタートすることが大切。

## 気づきのための実態把握のポイント

- 各種検査・チェックリストの結果
- 日常生活・家庭生活の様子



十分な資料の  
収集



- 総合的・多面的な実態把握

## 実態把握の方法

### ○ 子どもの日常生活の観察や関係者からの聞き取りで把握（全てチェックリストです）

#### ① PRS（LD診断のためのスクリーニングテスト）

LDの傾向が判断できます。また、言語面で困難を示している「言語性LD」なのか、言語以外で困難を示している「非言語性LD」なのか、その特性を把握することができます。

#### ② 新版S-M社会生活能力検査

「身辺自立」「移動」「作業」「意志交換能力」「集団への参加」「自己統制」の6領域の評価ができるとともに、社会生活年齢（SA）や社会生活能力指数（SQ）を求めることができます。

#### ③ LD，ADHD気づきのためのチェックリスト

ガイドライン等に掲載されているLD，ADHD等の行動特徴をもとに、学習面（聞く、読む、書く、話す、計算する、推論する）の困難性や、行動面（不注意、多動・衝動性、対人関係やこだわり等）の困難性を把握することができます。

### ○ 個別式知能検査による把握

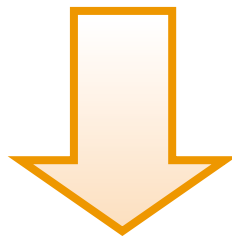
#### ④ WISC-III

#### ⑤ K-ABC

※全体的な知能の水準（IQ）や子どもの認知処理過程（視覚優位 or 聴覚優位の把握など）の特徴が把握できるため、知的障害であるか、LD等であるかの判断資料の一つになります。また、子どもの得意な能力を生かした指導方法も探ることができます。

### ○ 生育歴、学習状況

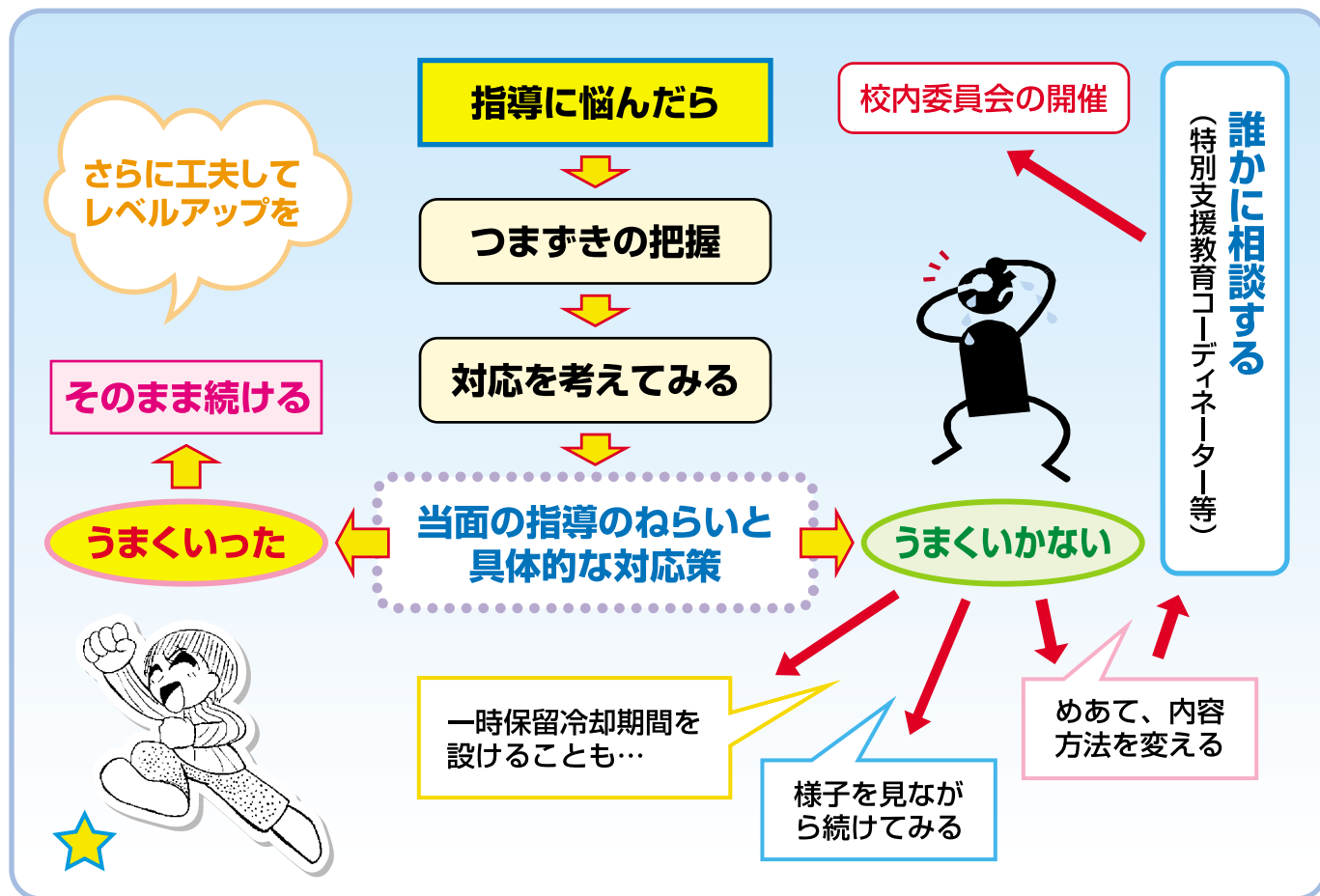
### ○ 行動等の状況



**以上の実態把握の結果を「個別の指導計画」の  
児童生徒フェイスシートに整理し、指導計画  
を策定します。**

※個別の指導計画の様式は、文部科学省からのガイドラインに掲載されています。

# 「気づき」から支援へ!!!



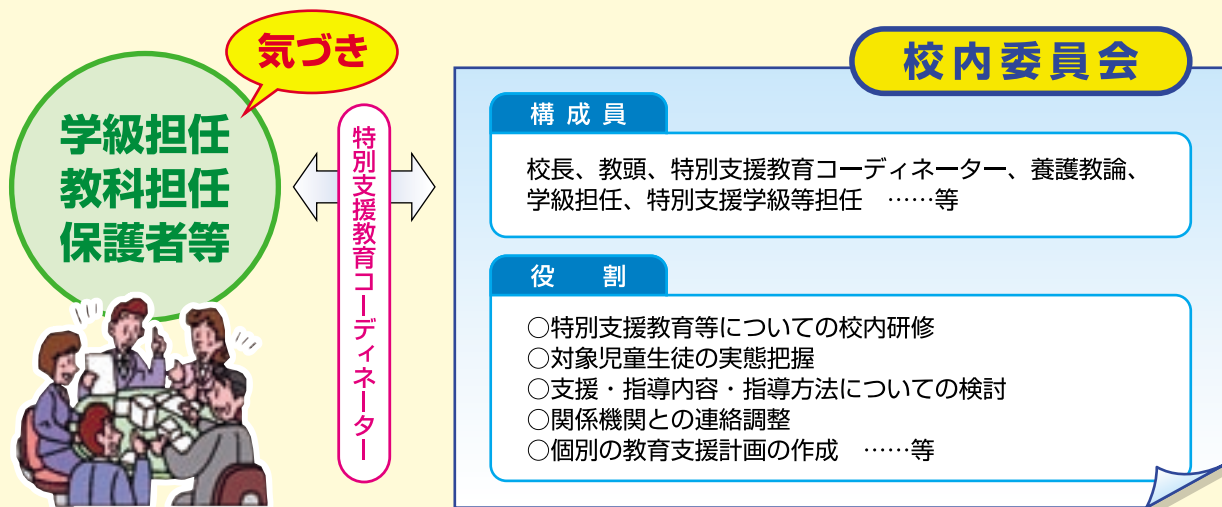
## こんな工夫をすると子どもは分かりやすい



# 気づきからの支援も担任個人のレベルでは限界があります。これからの特別支援教育は、いろいろな人・機関と連携しながら取り組むことが大切です。

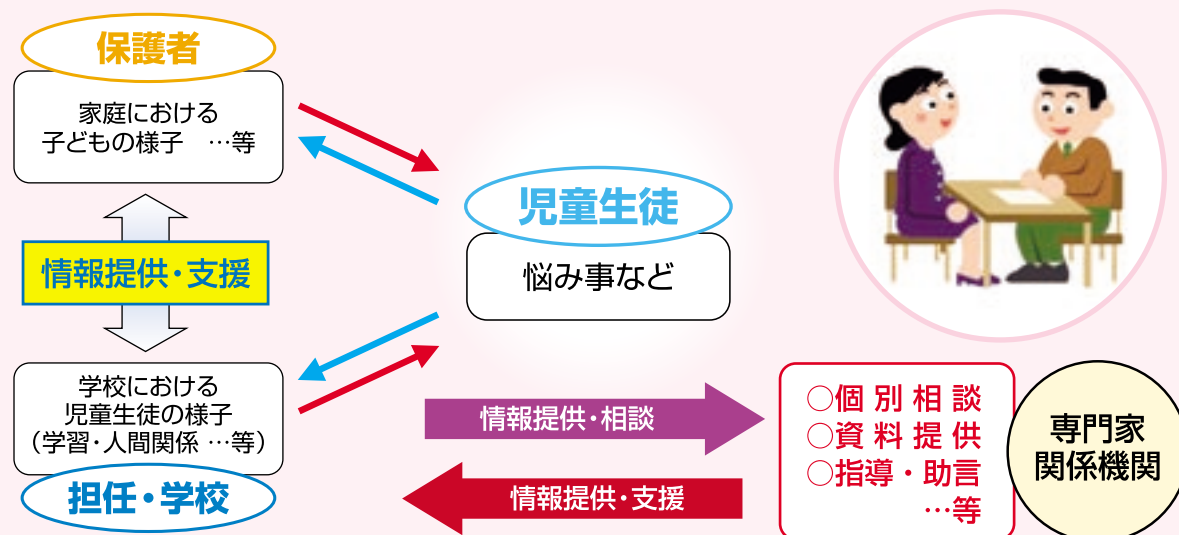
## 学校全体としての支援体制作りを

担任は、児童生徒のつまずきや困難な状況について、その原因の理解や指導方針が果たして正しいかどうか不安があると思います。その支援のためには校内委員会を中心に校内支援体制を確立し、つまずきや困難な状況にある児童生徒の指導を支援していくことが必要となります。ガイドライン等を参考に、児童生徒の実態把握や保護者、関係機関との連携の在り方など必要な体制整備について検討しましょう。



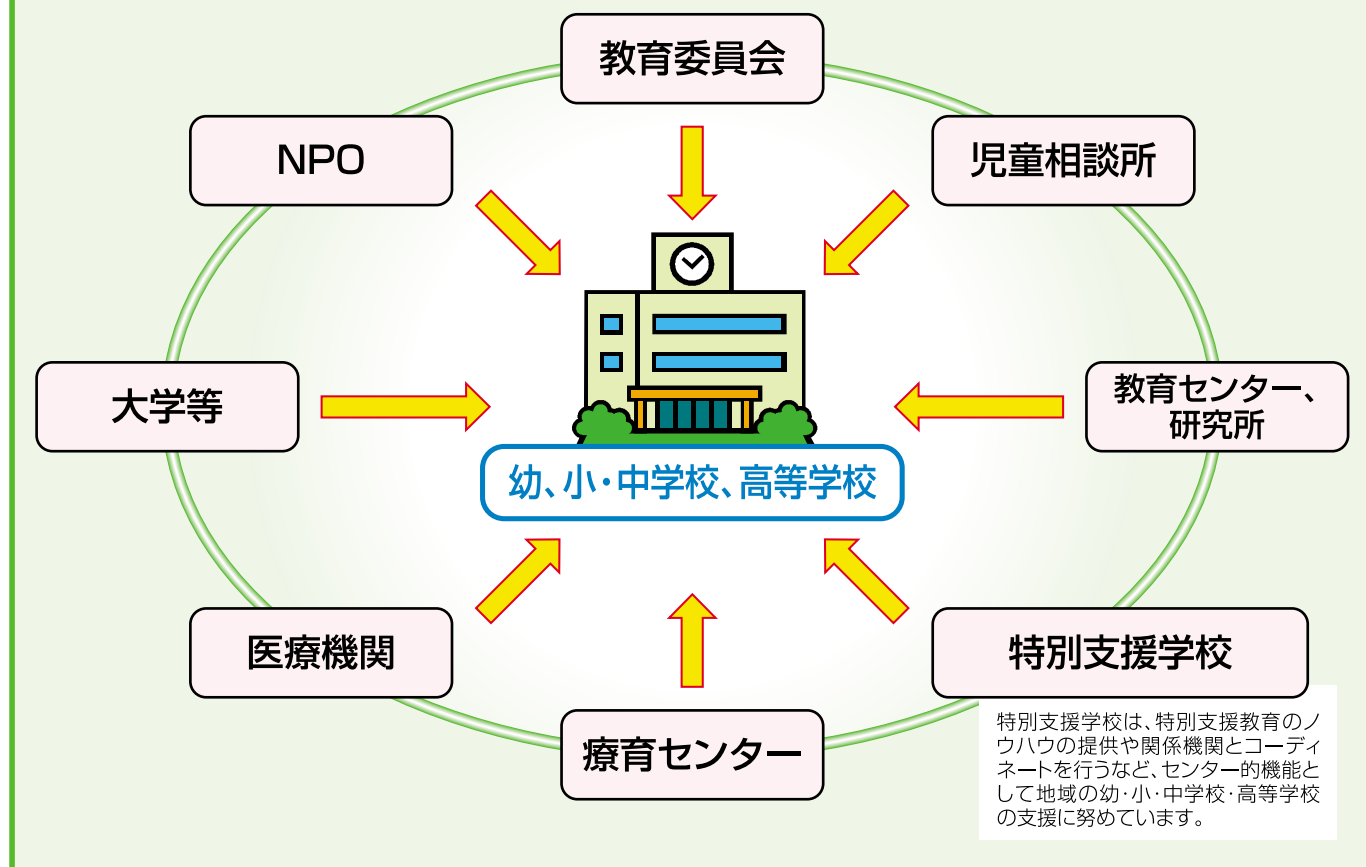
## 保護者との協力体制作り

個々の児童生徒の教育的ニーズに応じた指導を進めていくためには日常的に担任・学校と保護者が情報を共有しながら連携して児童生徒に対応することが不可欠です。下図を参考に双方が協力して支援が行える体制作りを進めていきましょう。





## 他機関と連携した支援体制作り



## 利用できる相談機関

### 県立総合教育センターにおける障害児教育相談

障害のある幼児児童生徒の保護者、担任教師、その他の関係者からの相談に対応しています。

市町村を巡回しての就学・教育相談や嘱託医による医療相談にも対応しています。

予約・問い合わせ先

### 県立総合教育センター特別支援教育課

〒904-2174 沖縄市与儀587

TEL.098-933-7526 FAX.098-933-7528



## 県立特別支援学校における教育

県立特別支援学校は地域における特別支援教育のセンターとしての役割を担っており、地域の幼・小・中学校・高等学校や障害のある子どもの保護者等に対する相談支援を行っています。幼児児童生徒の実態把握や指導法について、子育てについての相談等に対応します。

### 相談・問い合わせ先

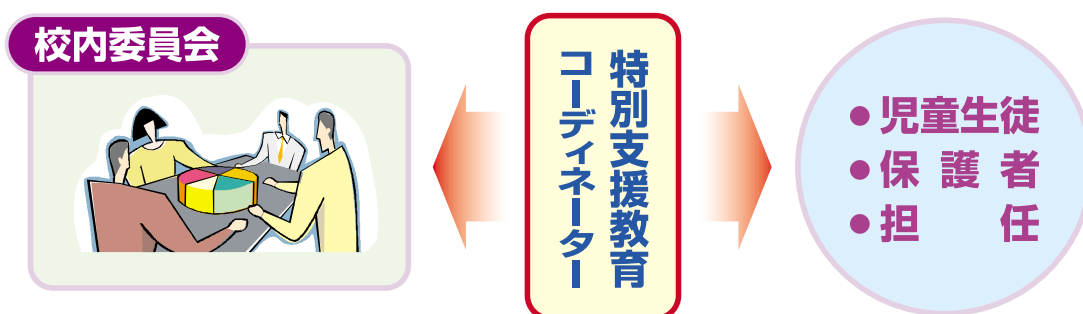
|               |                         |               |
|---------------|-------------------------|---------------|
| 県立沖縄盲学校       | 〒901-1111 南風原町字兼城473    | ☎098-889-5375 |
| 県立沖縄ろう学校      | 〒901-2304 北中城村字屋宜原415   | ☎098-932-5475 |
| 県立名護養護学校      | 〒905-0006 名護市字宇茂佐760    | ☎0980-52-0505 |
| 県立美咲養護学校      | 〒904-2153 沖縄市美里4-18-1   | ☎098-938-1037 |
| 県立大平養護学校      | 〒901-2113 浦添市大平1-27-1   | ☎098-877-4941 |
| 県立島尻養護学校      | 〒901-0411 八重瀬町字友寄160    | ☎098-998-8240 |
| 県立西崎養護学校      | 〒901-0305 糸満市西崎1-1-2    | ☎098-994-6855 |
| 県立宮古養護学校      | 〒906-0002 宮古島市字狩俣4005-1 | ☎09807-2-5117 |
| 県立八重山養護学校     | 〒907-0243 石垣市字宮良77      | ☎09808-6-7345 |
| 県立泡瀬養護学校      | 〒904-2173 沖縄市字比屋根654-2  | ☎098-932-7584 |
| 県立桜野養護学校      | 〒905-0006 名護市字宇茂佐1787-1 | ☎0980-52-3920 |
| 県立鏡が丘養護学校     | 〒901-2104 浦添市当山3-2-7    | ☎098-877-4940 |
| 県立鏡が丘養護学校浦添分校 | 〒901-2111 浦添市字経塚715     | ☎098-879-5590 |
| 県立那覇養護学校      | 〒902-0064 那覇市寄宮2-3-30   | ☎098-834-0948 |
| 県立森川養護学校      | 〒903-0128 西原町字森川151     | ☎098-945-3008 |
| 県立沖縄高等養護学校    | 〒904-2213 うるま市字田場1243   | ☎098-973-1661 |

# 沖縄県における特別支援教育体制推進事業

沖縄県は特別支援教育体制の整備に向け、  
次のような取組を行っています。

## I 学校における支援体制づくり

- 校内委員会の設置
- 特別支援教育コーディネーターの指名
- 個別の教育支援計画、個別の指導計画の策定
- 特別支援教育体制、発達障害児の理解・啓発の推進



## II 関係機関の連携による支援体制づくり

### 1 県域の広域特別支援連携協議会の設置

多様なニーズに対応する特別支援教育を  
地域で支える参加型ネットワーク

#### 広域特別支援連携協議会

県教委、各地域代表教委、福祉、医療、労働等関係機関、大学、NPOとの具体的連携協力

- 支援地域の設定とネットワーク形成
- 個別の教育支援計画モデル
- 研修、情報、相談支援システム（就学相談を含む）etc.

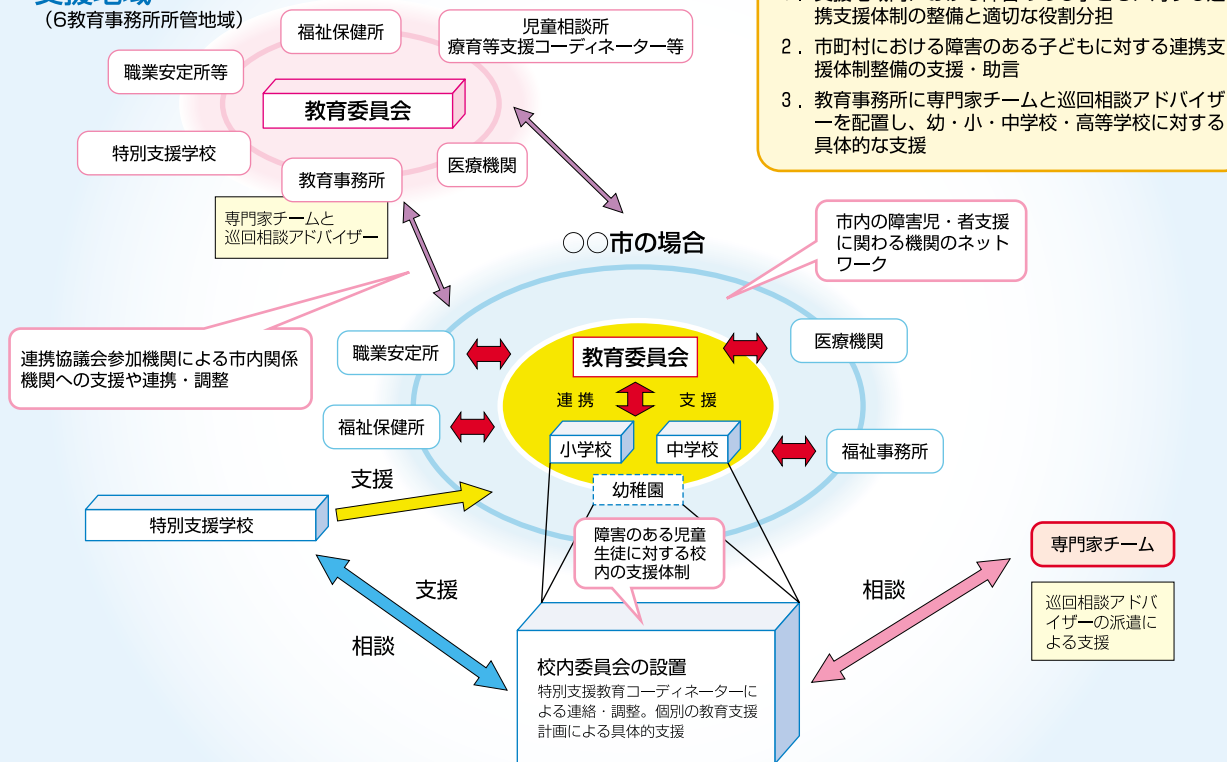
### 2 教育事務所単位の特別支援教育体制の整備

- 地域特別支援連携協議会の設置
- 専門家チームの設置
- 特別支援教育巡回アドバイザーの設置



## 支援地域

(6教育事務所所管地域)



## 相談・問い合わせ先

|                     |              |
|---------------------|--------------|
| ★ 県立学校教育課 (特別支援教育班) | 098-866-2715 |
| ★ 国頭教育事務所           | 0980-52-2664 |
| ★ 中頭教育事務所           | 098-939-0044 |
| ★ 那覇教育事務所           | 098-867-2710 |
| ★ 島尻教育事務所           | 098-998-4416 |
| ★ 宮古教育事務所           | 09807-2-3222 |
| ★ 八重山教育事務所          | 09808-2-3622 |

**「学校における支援体制」と「関係機関による支援体制」の連携により、個々のニーズに応じた特別支援教育体制づくりを図っています。積極的に活用してください。**

小・中学校におけるLD (学習障害)、ADHD (注意欠陥／多動性障害)、高機能自閉症の児童生徒への教育支援体制の整備のためのガイドライン (平成16年1月 文部科学省) も併せてご参照ください。

発行

**沖縄県教育委員会 (県立学校教育課 特別支援教育班)**

〒900-8571 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号

TEL.098-866-2715 FAX.098-866-2718